

Odds Park Club

vol.61

2021.4~6

園田競馬特集

ジョッキーインタビュー
笹田知宏 騎手

Graded Dirt Races

- 4/ 7 マリーンカップ JpnⅢ (船橋)
- 4/14 東京スプリント JpnⅢ (大井)
- 5/ 3 かきつばた記念 JpnⅢ (名古屋)
- 5/ 4 兵庫チャンピオンシップ JpnⅡ (園田)
- 5/ 5 かしわ記念 JpnⅠ (船橋)
- 5/27 北海道スプリントカップ JpnⅢ (門別)
- 6/ 3 さきたま杯 JpnⅡ (浦和)
- 6/16 関東オークス JpnⅡ (川崎)
- 6/30 帝王賞 JpnⅠ (大井)

私的名馬録

園田のアラブが中央挑戦 インターロツキー

「アラブのメッカ」。アラブ専門の競馬場だった園田は、サラブレッド導入の1999年以前はこう呼ばれていた。サラブレッド中心の中央とは違う独自の競馬を繰り広げているという関係者の矜持が込められたこの言葉が好きだった。その一方で、地方出身のオグリキャップやイナリワンの中央での活躍を見て、園田にサラブレッドがいないことを寂しく思っていた。

そんな私が驚いたのは1992年の春先だった。この年からJRAは地方との交流拡大のため、芝のオープン特別4レースを地方馬へ開放すると発表していたが、その



写真●兵庫県競馬組合

1989年5月5日、兵庫大賞典を制したインターロツキー
このときの鞍上は田中道夫騎手

1つのテレビ愛知賞（6月27日、中京・芝2000m）に兵庫からインターロツキー（武田廣臣厩舎）が出走することが報じられた。地方のアラブの中央挑戦は史上初。「そんなことできるの？」が正直な気持ちだった。

当時、牡8歳（旧表記）のインターロツキーは58戦27勝。重賞は兵庫大賞典3勝をはじめ、61キロで勝った播磨賞など計7勝の「園田の怪物」だった。ただ、関係者の間では「園田のアラブのオープンは中央500万（現1勝クラス）くらいの実力」と言われ、サラブレッドの中央オープン相手では苦戦必至と言えた。

しかし、関西のスポーツ紙は「園田の怪物、中央へ殴り込み」と大きく取り上げ、左回りの中京への対策として、右回りの園田を逆回りで調教する姿などを報じた。アラブの怪物の挑戦に、マスコミも熱い視線を注いだ。当時の様子を武田調教師はこう振り返った。「内心、勝つのは無理と思っていたが、取材が結構来て、本当にありがたかった。勝てなくてもアラブのメッカの名に恥じない走りを見せないとと思った」

土曜のレースに備え、月曜に園田で追い切ると水曜日には中京入り。木、金曜と芝で調整し、金曜には主戦の平松徳彦騎手が騎乗し感触を確かめた。平松騎手は「何から何まで初ものづくし。無欲の挑戦だっ

た」と当時の心境を語った。

単勝は16.3倍の7番人気（12頭立て）。本来ならしんがり人気でもおかしくないが、ファンの心情馬券が人気を高めた。パドックや馬場入場では、武田調教師が「出走馬の中で一番、声援が大きかった」と言うほどだった。レースはサラブレッドのスピードについていけず最後方追走から11着に終わった。とは言え、園田のアラブの中央挑戦は後にも先にも、ただ1頭。地方に枠を広げても、2年後の吾妻小富士オープンに挑戦した大井のトチノミネフジのみ。今はなきアラブ競馬の歴史を中央にも刻む偉業を担った。

インターロツキーは92年一杯で引退。引退レースとなった園田金盃は、向正面で置かれる大ピンチの中、4コーナーでエンジンがかかると、直線でグングン差を詰め、クビ差、差し切る劇的な勝利だった。引退式では詰めかけた1万人を超えるファンに別れを告げ、園田を去った。生涯成績65戦31勝。その功績だけでなく、果敢に中央のサラブレッドに挑んだその姿は今も燦然と輝いている。

松浦 渉（まつうら わたる）

1968年大阪府出身。重工メーカーに10年勤務後、高知競馬専門紙記者を経て、2002年日刊スポーツ西日本入社。2011年まで中央競馬担当、以降は地方競馬担当。

ピックアップ!! 兵庫三冠

かつてアラブ系のみで行われていた兵庫競馬にサラブレッドの2歳馬が導入されたのが1999年。翌年には園田ダービー、中央と交流の兵庫チャンピオンシップGⅢが新設され、またアラブ系3歳の重賞だった菊水賞がサラブレッドのレースとなり、サラブレッドの最初の世代が3歳になった2000年から三冠体系が確立された。そして01年にはロードバクシンが三冠を達成したが、ここまで三冠馬はその1頭だけとなっている。

当初は7月に三冠目として行われていた菊水賞が07年からは4月の一冠目となり、現在では、菊水賞（4月15日・園田1700m）、兵庫チャンピオンシップJpnⅡ

（5月4日・園田1870m）、兵庫ダービー（6月10日・園田1870m）という約2カ月の短期決戦となっている。

菊水賞の過去の勝ち馬には、佐賀記念JpnⅢを制したチャンストゥライ（06年）、マイルチャンピオンシップ南部杯JpnⅠ・2着ポアゾンブラック（12年）などダートグレードでも活躍した馬もいる。また、兵庫三冠が現在の体系となった07年以降は同じ1700mの2歳重賞・園田ジュニアカップに出走していた馬が毎年1〜2頭3着以内に入っている。

二冠目の兵庫チャンピオンシップJpnⅡは、2000年の第1回を笠松のミツアキサイレンス、01年には地元兵庫のロードバクシンが勝利。しかしその後はJRA勢が19連勝中となっている。地元兵庫勢は2着も11年のホクセツサンデーの1頭のみで、3着は06年のジョイーレ、07年のエンタノメガミ、10年のフィオーレハーバー、そして19年のパンローズキングスの4頭。地元重賞勝ちの実績があってもJRA勢の壁が高く立ち足はだかっている。



写真●兵庫県競馬組合

ディアタイザンが制した2020年の兵庫ダービー

最終戦の兵庫ダービーは、05年まで三冠の初戦として4月に行われていたが、06年のダービーウィーク創設に伴い、6月に実施時期を移行。名称もそれまでの園田ダービーから兵庫ダービーに変更された。12年にはメイレディ、13年にはユメノアトサキと牝馬が連勝。特にユメノアトサキは菊水賞、牝馬重賞・のじぎく賞と制しており、変則三冠を達成している。その後の7年で牝馬が3着以内に入ったのは、菊水賞勝ちの実績があった20年2着のステラモナークのみ。同馬を抑えて逃げ切ったのは単勝7番人気ディアタイザンで、デビューから手綱を取っていた杉浦健太騎手はデビュー11年目で兵庫ダービー初制覇となった。

今年は兵庫からJRA勢相手に通用する馬が登場するのか、そして世代の頂点に立つのはどの馬か。兵庫三冠はぜひオッズパークでお楽しみください。

実施日	レース名	距離(m)	2020年の優勝馬
4月15日	菊水賞	1,700	ステラモナーク(牝、兵庫・新子雅司厩舎)
5月4日	兵庫チャンピオンシップJpnⅡ	1,870	バーナードループ(牡、JRA・高木登厩舎)
6月10日	兵庫ダービー	1,870	ディアタイザン(牡、兵庫・碓清次郎厩舎)

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●父の勇姿を見て、俺も騎手になる

実況放送を見ていた時、妻が「新人騎手って、羽衣の滝で金田さんが連れていたあの子騎手になったの?」と聞いてきた。

もう20年近く前の話だが旭川開催の休催日に、天人峡観光に行った時、奥さんと幼い子連れ金田勇騎手(現調教師)と偶然出会った時のことらしいが、よく覚えていると感心したものだ。当時は4市の競馬場を転戦していて、子供の学校や生活があるため単身赴任が多く、父と一諸に過ごせるのは夏休みの間だけ



12月13日第9Rで初勝利を挙げた金田騎手

で貴重な日である。開催日は勝負師の顔も休催日には優しい父の顔になる。幼い頃から色鮮やかな勝負服を着た父親がスタンドの声援の中、馬群を割ってゴールに飛び込んで行く勇姿は大きく映っていたに違いない。

「父さんの勝負服で俺も騎手になる」と言って故大友榮司調教師を泣かせた大友栄人騎手(現調教師)の話は有名だ。近年親の仕事后继ぐ後継者不足で悩む人が多いなか羨ましい話だが、ばんえい競馬界には二世が多いのが特徴である。ミスターばんえいと呼ばれた金山明彦調教師は「サラブレッドと違い1000キロも

ある巨大な馬だからね、普通の人は潜在的な恐怖心を持っているんですが、厩舎育ちの子は三輪車に乗る前から父親の馬そりの後ろに乗って育っていますからね。それだけでも適性はあるんですよ」と語っているように、二世騎手の多くは幼い頃から、地域の草ばん馬場でちびっこ騎手として活躍していて経験豊富である。

昨年12月デビューの金田利貴騎手は23歳。騎乗数203回、29勝、2着28回、3着38回(3月1日終了時)の堂々たる成績である。胴黒・白一本輪、袖青・白二本輪の勝負服。もちろんその青は、父親譲りの青である。

文●小寺雄司

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/6	ばんえいオークス(3歳牝)	200	アバシシリビー(牝3)	西 将太	ばんえい・金田 勇
12/29	ばんえいダービー(3歳)	200	キョウエイリュウ(牡3)	松田道明	ばんえい・村上慎一
12/30	ヤングチャンピオンシップ(2歳産駒特別選抜)	200	アルジャンノオー(牡2)	藤野俊一	ばんえい・松井浩文
1/2	帯広記念(4歳以上)	200	オレノココロ(牡11)	鈴木恵介	ばんえい・梶館重人
1/3	天馬賞(5歳)	200	メモロボブサップ(牡5)	阿部武臣	ばんえい・坂本東一
1/31	翔雲賞(3歳牡)	200	タカナミ(牡3)	船山蔵人	ばんえい・金山明彦
2/7	ヒロインズカップ(4歳以上牝)	200	フェアリースズ(牝7)	島津 新	ばんえい・岩本利春
2/14	黒ウリ賞(3歳牝)	200	イオン(牝3)	鈴木恵介	ばんえい・梶館重人
2/28	チャンピオンカップ(4歳以上重賞優勝馬)	200	アオノブラック(牡5)	藤野俊一	ばんえい・金田 勇

ホッカイドウ競馬

場番号 門別 06#

写真●写真のトライ

●4月14日、新シーズン開幕!

令和3年度のホッカイドウ競馬が4月14日、馬産地・日高町の門別競馬場で開幕する。新年度も11月1週の木曜日(4日)まで計30週にわたり15開催・計82日間、すべてグランシャリオナイター開催で行われる。

最終日前日の11月3日(祝・水)には、創設年だった昨年に続きJBC2歳優駿JpnⅢが行われ、JBCクラシックをはじめJpnⅠ・3競走を8年ぶり(2度目)に

施行する金沢競馬場と2場同日開催で“JBCデー”を盛り上げる。

5月4日のコスモバルク記念(H2)から始まる重賞戦線は、最終日11月4日の道営記念(H1)まで計28競走が予定されているが、最も注目度の高い2歳戦線ではサッポロクラシックカップ(H2)など6重賞の1着本賞金がアップ。施行時期が10月21日へと前倒しされた2歳牝馬重賞・プロッサムカップはH2への格上げに伴い1着本賞金が昨年の250万円→500万円へと倍増されることとなった。

古馬戦線では伝統の中距離重賞・赤レンガ記念と、昨年新設のウポポイオータムスプリントがともにH2に昇格。それぞれ1着本賞金も500万円に引き上げられ、よりレベルの高い戦いとなることが期待される。

さらに、3歳及び古馬戦線では『準重賞』カテゴリーを新設(3歳=3

競走・うち牝馬限定1競走、3歳以上=4競走を予定)するとともに、いわゆるオープン(A1)特別競走の1着本賞金も150万円→200万円へと増額することで上級条件をダイナミックに拡充。オープン馬を中心に競走資源のさらなる充実が果たされれば、ファンの興味も格段にアップすること請け合いで、昨年、史上最高発売額を大幅に更新(520億円余。それ以前の過去最高は1991年度の454億円余)した勢いがさらに加速する可能性も十分にありそうだ。

開幕1カ月あまり前の3月11日から、早くも2歳馬や転入馬の能力検査もスタート。今年も開幕初日から新馬戦(JRA認定競走)が編成されるはずだが、初年度産駒がデビューする“新米パパ”たち(キタサンブラック、コパノリッキー、ロゴタイプ、ワンアンドオンリー、イスラボニータ、ビッグアーサー、サトノアラジン、ラニ、ドレフォン、アメリカンペイトリオットなど)の活躍よりも大いに楽しみだ。そんなワクワク感いっぱいの令和3年度・門別グランシャリオナイター開催、4月14日の開幕を心待ちにしていきたいと思います。

文●日高路



今季も道営記念まで28重賞を実施(写真は20年道営記念)

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

写真●岩手県競馬組合

●パワー勝負の桐花賞

無観客開催でスタートした2020年シーズンの岩手競馬は、全国のファンの支持を受けて春夏秋を乗り越えたが、冬の水沢開催となって強烈な寒波に襲われた。寒菊賞が行われた12月14日から降り続いた雪は約50センチの積雪になり、翌日から4開催日連続の開催取り止め。1月上旬は冷え込みが厳しくなり、9日には県内複数の観測地点で統計開始以来の最低気温を記録。近隣の観測地点である奥州市江刺でも氷点下18.3度と冷え込んだ。1月9日からの3日間は馬場凍結による開催取り止め。シーズン最終日のト



12月31日 桐花賞 エンパイアベガサス

ウケイニセイ記念は実施できなかった。

12月31日の桐花賞も開催が危ぶまれた。前日30日は第1レースを実施しただけで、第2レース以降がやはり降雪の影響で開催取り止め。競馬場は懸命の作業で、なんとかレースが実施できるまで態勢を整えた。パワー勝負の馬場となりエンパイアベガサスが優勝したが、勝ち時計は2分13秒5。1997年にこの時期異例の良馬場で行われ、メイセイオペラが勝った2分15秒7に次ぐ、桐花賞45回の歴史の中で2番目の遅さだが、逆にこの冬の厳しい寒さを象徴する数字として記憶に残るものとなった。

●リュウノシンゲン重賞4勝目

1月2日の金杯はリュウノシンゲンが単勝1.1倍の人気に应运えて4つめの重賞



1月2日 金杯 リュウノシンゲン

タイトル。北海道所属馬に先着を許した南部駒賞の3着は惜しまれるが、ダートでは県内の同世代馬に先着を許すことなくシーズンを終えた。交流重賞の知床賞とプリンスカップを勝った、牝馬ゴールデンヒーラーとともに、春からも3歳路線を牽引していくことになるだろう。

文●深田桂一 (ケイシュウNEWS)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/7	北上川大賞典(3歳以上)	水沢 2500	エンパイアベガサス(牡7)	村上 忍	岩手・佐藤祐司
12/14	寒菊賞(2歳)	水沢 1600	リュウノシンゲン(牡2)	坂口裕一	岩手・菅原 勲
12/21	白嶺賞(3歳以上)	水沢 1600	競走取止め		
12/31	桐花賞(3歳以上)	水沢 2000	エンパイアベガサス(牡7)	村上 忍	岩手・佐藤祐司
1/2	金杯(3歳)	水沢 1600	リュウノシンゲン(牡3)	坂口裕一	岩手・菅原 勲
1/11	トウケイニセイ記念(4歳以上)	水沢 1600	競走取止め		

金沢競馬

場番号 41#

写真●石川県競馬事業局

●2年目の飛躍誓う魚住騎手

金沢競馬の騎手や調教師のリーディング争いは、一昨年までは4月から冬休みを挟んだ翌年3月までの年度区切りの勝利数だったが、昨年から冬休み明けの3月から12月までの年区切りによく変わった。2020年シーズンは藤田弘治騎手が91勝を挙げて2年連続4回目のリーディングジョッキーに、金田一昌調教師が149勝を挙げて2年連続14回目のリーディングトレーナーに輝いた。

デビュー1年目のルーキー魚住謙心騎手は42勝を挙げて、デビュー年に目標



2020年4月7日第6Rで初勝利を挙げた魚住騎手

にしていた30勝はクリアしたものの「50勝はしなかった」と喜びはなかった。なぜなら4月デビューながら騎乗回数は藤田騎手を上回る多さで、減量の恩恵が受けられないにもかかわらず、重賞でも騎乗依頼があったほどだった。物怖じしない明るい性格で、どんな馬でも乗りこなそうとする姿勢が厩舎関係者の人気を集めた。「中日本杯で乗れたのもいい経験になったし、1年目から本当にありがたかった。それだけにもっと結果を残したかった」と悔しさをにじませた。

思ったほど勝ち星は伸ばせなかったが、多くの騎乗機会が与えられたことで体力には自信がついた。「最初の頃は朝の調教だけで疲れていたけど、今では1日9レース乗っても平気です」と笑う。思えばデビュー2日目に、後方一気の追い込みを決めて初勝利を飾ったかと思えば、同じ日の準メインで逃げ切り勝ちを収めて早々と2勝目を飾った。その時か



12月6日 中日本杯 ハクサンアマゾネス

ら乗れる印象はあったが「自分ではまだまだと思っている。パワーがある馬でも負けずに抑え込んで、しっかり動かせる騎手になりたい」と、求めている騎手像は高い。

またヤングジョッキーズシリーズで3着以内がなかったことも悔やんだ。「佐賀と笠松で騎乗したんですけど、金沢とは全然乗り方が違っていった。ほかの競馬場でも勝てるようにになりたい」と、さらなる飛躍を誓った。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/6	中日本杯(3歳以上)	2000	ハクサンアマゾネス(牝3)	吉原寛人	金沢・加藤和義

笠松競馬



場番号 42#

●出世重賞制したフーククリスタル

2018年エムエスクイーン、そして19年ニュータウンガール。近年のライデンリーダー記念優勝馬は、その後の東海3歳戦線のけん引役を担って“出世重賞”と注目度が増している。今回から距離は1400メートルに、そして北陸・東海地区交流へ変わり、牡・牝混合重賞へとバージョンアップ。大幅リニューアルされたこともあって、例年以上に関係者から熱視線を浴びた。

厩舎期待の若駒がフルゲートで激突したが、1番人気ニジイロ、ただ1頭の重賞ウイナーとして金沢から遠征したマナ



12月30日 ライデンリーダー記念 フーククリスタル

パレンシアらを抑え、3番人気のフーククリスタルが積極先行からクビ差しのいで重賞初制覇した。

それまでの4勝すべてを逃げ切りで飾ってきたフーククリスタルにとって、勝ちパターン主導権が握れるかが一番のポイントだった。スタートでつまずき、さらに直後には寄れて他馬と接触したが、高木健騎手の出ムチに応え、陣営の思惑通りに先制できたのが大きかった。軽快なピッチで飛ばし、セーフティリードを保って駆けた。道中、随所にフラフラとして、4コーナーでも外に膨れる若さをのぞかせたが、持ち前の先行力を発揮。重賞初挑戦初Vを成し遂げた。

「控える競馬ができるようになるといいんですけど……。現状は逃げがベスト



1月7日 白銀争覇 タイセイブレシャス

かも。でも強い相手に結果が出せてうれしいです。まだ本調子までいってないですからね」とベテラン騎手は苦笑いしながらエールを送った。課題はもちろんあるが、伸びしろ、可能性が大きいのは言うまでもない。出世重賞を射止めた好素材の今後を見守りたい。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/30	ライデンリーダー記念(2歳)	1400	フーククリスタル(牡2)	高木 健	笠松・井上孝彦
12/31	東海ゴールドカップ(3歳以上)	1900	ウインハイラント(牡6)	加藤聡一	名古屋・坂口義幸
1/7	白銀争覇(4歳以上)	1400	タイセイブレシャス(セン9)	水野 翔	笠松・後藤佑耶
1/21	ゴールドジュニア(3歳)	1600	競走取止め		
2/4	ウインター争覇(4歳以上)	1800	競走取止め		

名古屋競馬

場番号 43#

●実力馬の復活劇に沸く

名古屋ファンが、ずっと待ち望んでいたニュースだ。“王者”と“女王”が新年早々、そろって復活を果たした。

マイル争覇で王者カツゲキキトキトが、好位で流れに乗って鮮やかに抜け出し、1年にも及んだケガとの戦いを見事に克服した。2019年4月の笠松・オグリキャップ記念以来の通算重賞20勝目は、スマートファルコン(引退)と並んでいた平地重賞最多勝記録更新の金字塔でもあった。「泣けてきたね。調教をはじめると脚元がモヤモヤして、何度も一進一退を繰り返しての今日の勝利。往年の姿、力には及ばないけど、ほんとすご

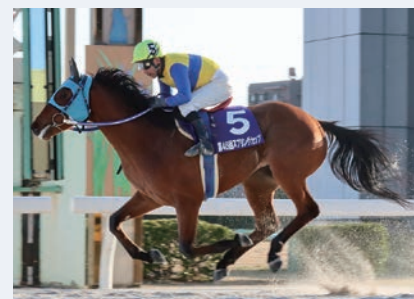


1月14日 マイル争覇 カツゲキキトキト

い馬だよ」。苦楽をともにしてきた主戦・大畑雅章騎手が、唇を震わせて話す姿が何とも印象的だった。

女王ポルタディソーニもあとに続いてみせた。1月27日のA級2組を軽快に逃げ切って約1年ぶりの勝利を飾ると、続く地方全国交流重賞・梅見月杯で銀メダルを獲得した。大井のノーブルサターンには離されたが、7番人気の低評価に反発。持ち前のしぶとい走りで2着に逃げ粘った。「ペースよく駆けられたのもありますけど、(好メンバーで)勝ちに等しい2着だと思います」と宮下瞳騎手は笑顔で振り返った。

カツゲキキトキトは梅見月杯を右前球



2月24日 スプリングカップ プンブンマル

節炎のため出走取消し、再びひと息入れざるをえなくなったが、ポルタディソーニは2走連続好走でスランプからの脱出に成功。名古屋の古馬戦線をけん引する王者、女王の動向からは今後も目が離せそうにない。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/10	名古屋グランプリJpnⅡ(3歳以上)	2500	マスターフェンサー(牡4)	川田将雅	JRA・角田晃一
1/1	新春ベガスサップ(3歳)	1600	プンブンマル(牡3)	戸部尚実	名古屋・川西 毅
1/4	名古屋記念(4歳以上)	1400	アドマイヤムテキ(牡8)	岡部 誠	名古屋・角田輝也
1/14	マイル争覇(4歳以上)	1600	カツゲキキトキト(牡8)	大畑雅章	名古屋・錦見勇夫
1/26	梅桜賞(3歳牝)	1800	ティーズダンキー(牝3)	大畑雅章	名古屋・今津博之
2/10	梅見月杯(4歳以上)	1900	ノーブルサターン(牡7)	戸部尚実	大井・佐野謙二
2/24	スプリングカップ(3歳)	1800	プンブンマル(牡3)	戸部尚実	名古屋・川西 毅

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

写真●兵庫県競馬組合

●ジンギが年度代表馬に

年末年始を最も盛り上げたのは橋本忠明厩舎が誇るジンギとエイシンニシパ。ジンギは園田金盃を圧勝。20年の兵庫年度代表馬に選出され、兵庫の看板馬に一躍躍り出た。1月の白鷺賞も圧勝し、「精神面でも成長している。胸を張って他場でも勝負できる」と田中学騎手。3月11日の名古屋大賞典JpnⅢで初めてダートグレード挑戦予定だ。また、エイシンニシパは園田金盃2着だったが、新年最初の重賞・新春賞を制して3連覇、通算4勝目という偉業を成し遂げた。はがくれ大賞典(佐賀)では通算3勝目になったかどうか。

短距離は兵庫ゴールドトロフィー



1月3日 新春賞 エイシンニシパ

JpnⅢが行われ、JRAのサクセスエナジーが優勝。地元馬の最先着は4着のナリタミンスターだったが、次走の兵庫ウインターカップを制して、改めて兵庫の短距離最強を証明した。「競り合いには強い。二枚腰を使ってくれる」と吉村智洋騎手。最優秀4歳以上短距離馬のタイトルは年間重賞4勝のエイシンエンジョイだったが、この勝利で21年はナリタミンスターの年になることを予感させた。

2歳戦線は大みそかに園田ジュニアカップが行われ、制したのは兵庫若駒賞に続いてツムタイザン。最優秀2歳馬に輝いた。将来性も含めて現地点では一歩抜け出した印象を受ける。レース後は放牧



1月28日 白鷺賞 ジンギ

に出され、すでに帰厩。一度レースを使ってから菊水賞へ向かう。

なお、最優秀3歳馬、同牝馬にはステラモナーク、特別賞には北國王冠2着後に悲運の死を遂げたタガノゴールド、兵庫ダービー馬ディアタイザンが選出された。

文●松本健史(大阪日刊スポーツ)

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/2	兵庫ジュニアグランプリJpnⅡ(2歳)	園田 1400	デュアリスト(牡2)	福永祐一	JRA・安田隆行
12/9	園田金盃(3歳以上)	園田 1870	ジンギ(牡4)	田中 学	兵庫・橋本忠明
12/23	兵庫ゴールドトロフィー JpnⅢ(3歳以上)	園田 1400	サクセスエナジー(牡6)	松山弘平	JRA・北出成人
12/31	園田ジュニアカップ(2歳)	園田 1700	ツムタイザン(牡2)	杉浦健太	兵庫・大山寿文
1/3	新春賞(4歳以上)	園田 1870	エイシンニシパ(牡8)	吉村智洋	兵庫・橋本忠明
1/14	兵庫クイーンセレクション(3歳牝)	姫路 1400	ニジイロ(牝3)	渡邊竜也	名古屋・川西 毅
1/28	白鷺賞(4歳以上)	姫路 2000	ジンギ(牡5)	田中 学	兵庫・橋本忠明
2/25	兵庫ウインターカップ(4歳以上)	姫路 1400	ナリタミンスター(牡6)	吉村智洋	兵庫・坂本和也

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●3歳戦線の主役は?

2020年の2歳重賞は11月の第5回黒潮ジュニアチャンピオンシップ(1400メートル)をハルノインパクトが、12月の第42回金の鞍賞(1400メートル)をブラックマンバが制覇。デビューからの安定した成績が評価されハルノインパクトが高知の最優秀2歳馬に選出された。しかし3歳シーズンとなって初の準重賞・土佐水木特別(1600メートル)では両馬が揃って馬券圏外に消え去る波乱となった。勝ったのはJRA未勝利から転入し、初戦快勝から挑戦してきたベアナチュラル。スローな流れやコース取り等の妙はあったが、見事に既存勢力を封じた。ブ



12月26日 金の鞍賞 ブラックマンバ

ラックマンバ、ハルノインパクト等を含め、今後の勢力図がどう変わっていくか注目だ。

●黒船賞選考競走も好レース!

今年の黒船賞選考競走は1月17日の第10回大高坂賞(1400メートル)、同31日の第18回黒潮スプリンターズカップ(1300メートル)、2月14日の第8回だるま夕日賞(1600メートル)の3レースで争われた。豪快な追い込みで大高坂賞を勝ったアイアンブルー、だるま夕日賞で重賞6勝目を決めた20年の年度代表馬スペルマロンは見事だったが、黒潮スプリンターズカップを勝ったサクラレグナムの強さも流石だった。同レースは選考競走唯一の地方交流戦。今年は兵庫から3頭、名古屋から2頭、岩手から1頭の遠征があり、特に兵庫勢は強敵と目



1月31日 黒潮スプリンターズカップ サクラレグナム

されていたが、サクラレグナムがアッサリと抜け出し快勝。一昨年に続く同レース2回目の制覇となった。今年で12歳。高齢馬の活躍が少なくない高知競馬ではあるが、第一線で活躍を続ける同馬、そして関係者の方々には感服するばかり。高知競馬の短距離界を牽引する1頭として、これからも輝き続けて欲しい。

文●風間恒一(中島高級競馬塾)

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/26	金の鞍賞(2歳)	1400	ブラックマンバ(牡2)	岡村卓弥	高知・別府真司
12/31	高知県知事賞(3歳以上)	2400	スペルマロン(セン6)	倉兼育康	高知・別府真司
1/17	大高坂賞(4歳以上)	1400	アイアンブルー(セン7)	佐原秀泰	高知・中西達也
1/31	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300	サクラレグナム(牡12)	赤岡修次	高知・田中 守
2/14	だるま夕日賞(4歳以上)	1600	スペルマロン(セン7)	倉兼育康	高知・別府真司

佐賀競馬



場番号 61#

●北海道デビュー馬が3歳戦を席巻

花吹雪賞は、九州ジュニアチャンピオンの勝ち馬シュリーデービーが回避。カペラ賞を勝ったプリマステラと、佐賀転入後2連勝中のトゥルスウィーの門別デビュー馬2頭の対決が注目された。3番手から3コーナーで先頭に立ったトゥルスウィーが転入後無敗での重賞初制覇を果たし、プリマステラは直線で一気に差を詰めたものの3/4馬身及ばなかった。トゥルスウィーは次走で古馬B級の準重賞に挑戦し勝利。佐賀皐月賞、九州ダービー栄城賞の3歳春二冠でも主役となりそうだ。

シュリーデービーは、2歳特別戦でト



1月11日 花吹雪賞 トゥルスウィー

ウルスウィーらに苦戦したが、3歳になり佐賀デビュー馬限定戦で2連勝と立て直されてきており、巻き返しに期待がかけるところだ。

●佐賀記念の不出走馬にも注目

佐賀記念JpnⅢは、クリンチャー(JRA)がレコード勝ち。一方、佐賀勢はグレイトパールの7着が最先着と振るわなかった。佐賀スプリングカップでは、佐賀記念に出走していなかったアンバラージュやウノピアットプリオにもチャンスがありそうだ。

●ルーキーがめざましい活躍

短距離路線では吉野ヶ里記念3着、佐賀オクタムスプリント2着と、夏秋の重賞で敗れていたドラゴンゲートが、ウインターチャンピオンではデータヴァリュに6馬身差を付ける圧勝で、同レース



2月28日 ウインターチャンピオン ドラゴンゲートの連覇を達成した。その手綱を取っていた飛田愛斗騎手は、このレースの3日前のたんぼ賞をイロエンピツ(JRA)で勝ち重賞初制覇。昨年10月の初騎乗から4カ月ほどで重賞2勝を挙げ、今年の佐賀リーディングでは2月終了時点で34勝をマークし1位。デビュー初年度から目が離せない存在となっている。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2020年12月～2021年2月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
12/27	中島記念(3歳以上)	1800	アンバラージュ(牝4)	鮫島克也	佐賀・真島元徳
1/11	花吹雪賞(3歳牝)	1800	トゥルスウィー(牝3)	山口 勲	佐賀・北村欣也
2/11	佐賀記念JpnⅢ(4歳以上)	2000	クリンチャー(牡7)	川田将雅	JRA・宮本 博
2/25	たんぼ賞(3歳九州産)	1400	イロエンピツ(牝3)	飛田愛斗	JRA・大根田裕之
2/28	ウインターチャンピオン(3歳以上)	1400	ドラゴンゲート(牡9)	飛田愛斗	佐賀・三小田幸人

競馬場別
騎手リーディング Top3

(2020年1月1日～12月31日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	1,087	186	116	111	17.1	27.8	61,552,500
2	阿部武臣	1,139	170	173	150	14.9	30.1	58,800,000
3	島津 新	977	138	86	93	14.1	22.9	43,703,000

ホッカイドウ競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	石川 倭	649	113	92	95	17.4	31.6	136,913,000
2	桑村真明	687	107	115	90	15.6	32.3	151,819,000
3	五十嵐冬樹	580	91	72	70	15.7	28.1	83,368,000

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山本聡哉	771	186	122	103	24.1	39.9	140,432,000
2	高松 亮	918	159	160	112	17.3	34.7	123,424,000
3	村上 忍	732	131	120	92	17.9	34.3	89,104,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	藤田弘治	587	98	95	83	16.7	32.9	68,318,000
2	中島龍也	462	83	73	62	18.0	33.8	54,593,000
3	吉田晃浩	426	81	62	48	19.0	33.6	48,822,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	筒井勇介	699	131	122	90	18.7	36.2	61,733,000
2	渡邊竜也	614	116	107	91	18.9	36.3	53,508,000
3	藤原幹生	614	88	76	75	14.3	26.7	40,906,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	740	200	142	99	27.0	46.2	129,314,000
2	丸野勝虎	738	135	79	93	18.3	29.0	77,108,000
3	大畑雅章	882	122	102	87	13.8	25.4	88,285,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,198	353	192	146	29.5	45.5	345,301,500
2	下原 理	1,134	208	190	155	18.3	35.1	284,609,000
3	田中 学	1,121	166	202	154	14.8	32.8	258,293,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	666	245	121	76	36.8	55.0	178,810,000
2	永森大智	665	115	122	78	17.3	35.6	110,084,000
3	西川敏弘	751	103	114	82	13.7	28.9	113,666,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	山口 勲	675	184	115	99	27.3	44.3	96,621,500
2	石川慎将	809	117	94	110	14.5	26.1	78,757,000
3	倉富隆一郎	661	85	73	62	12.9	23.9	52,835,500

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

笹田知宏騎手はニュージーランドで重賞を2勝して、日本では2016年の菊水賞が初。その後はナチュラリーとのコンビで重賞4勝を挙げている。

ナチュラリーは下原（理）さんが主戦でしたが、（2018年の）兵庫ゴールドカップのときはエイシンヴァラーがいたので、僕に声がかかりました。そのころのナチュラリーは、最後の直線で気を抜くことがあるなど、気むずかしい面が残っていました。でも兵庫ゴールドカップでは今までにないくらいのスタートを切ってくれて、最後までまじめに走ってくれたんです。ナチュラリーでは逃げるレースができていて、みなさんが僕を「スタートが上手」というイメージを持つことにつながっているのかもしれない（笑）。2019年の兵庫ゴールドトロフィー（7着）もスタートは速かったのですが、JRA勢のスピードがやっぱり上で、デビュープロセスに先に行かれてしまいました。ちなみに僕が乗ったなかでいちばんよかったスタートは、大井の東京スプリント。ナチュラリーは名古屋遠征がイマイチで、それよりも遠い場所で大丈夫かと心配していましたが、当日はとても落ち着いていて、いい雰囲気でした。

結果は15着だったが、映像を見ると確かにゲートが開いた瞬間、他馬より半馬身ほど前に出ていた。ヒロシゲゴールドで逃げた武豊騎手にはそれが見えたのだろう。レース後に「速かったね」と声をかけられたそう。

これからもほかの競馬場に遠征してみたいですね。（最初に騎手免許を取得した）ニュージーランドでは長距離の移動は当たり前で、イタリアも賞金を含めて厳しい環境でした。

およそ8年間の海外生活を経て、2011年から日本で騎乗。当時の兵庫は騎手の引退が続いていたが、要因のひとつには低迷する賞金体系があった。しかしそれを乗り越えて、兵庫の賞金額は上昇。そして時代の流れとともに、笹田騎手は先輩と呼ばれることが多くなってきた。

賞金額が増えたからといって、騎手の目の色が以前よりも変わってきたとか、そう



写真●兵庫県競馬組合

国内では16年菊水賞が重賞初制覇

いう感じはあまりないですね。それよりも移籍してくる馬の実力が上がってきたので、力関係の把握が難しくなった感じがあります。ただ、騎手に関しては正直なところ、下の世代にはガツガツするところを感じられないんですよね。若手から何か聞かれれば答えますけれど、質問そのものが少なく。上手な先輩が活躍しているうちに、技術面を含めて盗めるようにしないとダメだと思います。僕は（現調教師の）木村健さんにかわいがってもらっていて、レースのあと一緒にVTRを見て勉強させていただいていました。園田は乗りこなすのがとても難しい競馬場。木村さんからは「園田では1～2コーナーのコース取りと折り合いを大切にしないと勝てないよ」といつも言われていました。実際、そこを上手く回れないと、3コーナーあたりで手応えがなくなってしまうことがあるんです。

園田競馬場は、1周1051mで、日本一の短さ。そこで成績を上げていくには高い騎乗技術と経験値が必要なのかもしれない。笹田騎手が所属している新子雅司厩舎には、兵庫では初めてとなる新人の女性騎手が所属する予定になっている。

現在のところは自分の背中で見せていく感じになるのかな。僕もまだまだ学ぶところがたくさんありますし。

笹田騎手は2013年に新子厩舎の所属になり、それからしばらく年間30勝前後が続いた。それが2018年には56勝でリーディング9位になり、2019年は73勝で7位。そして2020年は125勝で4位と躍進している。

師匠（新子調教師）に育てていただいているという認識はありますね。そしてそれに応えないと、と思っています。2020年に勝ち星が大きく増えた要因は、自厩舎の馬に多くのせていただけるようになったことですね。そこで結果を出せるようになったことで、ほかの厩舎からも声をかけていただけることにつながったのだと思います。

それは成績が上昇した騎手の共通点。いったん歯車がかみ合うと、一気に数字が伸びていく。その成果のひとつとして、白鷺賞では名古屋から遠征してきたシゲノブの手綱を任された。2021年も年明けから成績良好。ただ、トップの吉村智洋騎手との差はかなりある。

吉村さんは勝ちにこだわるという姿勢がとてもすごくて、そこは大いに見習うべきだと感じます。吉村さんがこれほどの成績を残しているのは、高い騎乗技術はもちろん、しっかりとトレーニングをしていることも要因のひとつだと思うんですね。そ

笹田知宏（兵庫）

ささだ ともひろ



1986年4月4日生まれ おひつじ座 O型
滋賀県出身 新子雅司厩舎
初騎乗／2011年10月13日
地方通算成績／4,470戦481勝
服色／胴紫・袖黒・紫一本輪
重賞勝ち鞍／兵庫ゴールドカップ(2回)、園田ウインターカップ(2回)、菊水賞
※2021年2月20日現在

う考えると、自分もしっかりとレベルアップしていけば、同じような成績を残せる可能性はあるんだと思います。そのためにという意味を含めて、下半身をもっと強くしたいですね。以前よりはレベルが上がっていると思うのですが、さらに筋力をつけていきたいと考えています。

今年は日本での勝ち星が500を超えることが確実だ。笹田騎手自身、その先に据える目標はあるのだろうか。

自分自身、あまり数字を目標に置くとか意識するとか、そういうことはしないタイプなんです。2020年は、年の初めに師匠から「年間100勝以上」と言われたことが頭に入っていました。数字で思い浮かぶのはそれくらいですね。でも前の年より数字が下がらないように、という思いはあります。ここ数年はクリアできていますから、これからも少しでも上に行けるようにしていきたいです。

2020年の春以降、園田競馬場も姫路競馬場もクッション砂が全面的に入れ替えられて、以前とはレースの流れが変化した印象がある。

砂は変わりましたが、その週ごとに馬場の感触が違うのは以前と変わらないという気がしますね。姫路は内ラチ沿いをすこし空けて走らせるので、いわゆる器用なタイプは合わないように思います。園田では内ラチを頼って走らせることができて、姫路だと難しいですからね。いずれにしても、園田も姫路も立ち回り次第。どちらの競馬場もお客さんとの距離が近いので、それぞれの騎手がレースにかける熱量もたくさん伝わるのではないかと思います。激しいレースが多いので、ファンの皆さんには、騎手のアグレッシブなところを見てほしいと思います。

浅野靖典的

兵庫競馬の歴史

昭和初期から唯一近畿地方で
地方競馬が続く兵庫県

地方競馬法に基づく兵庫の競馬には長い歴史があり、園田競馬場が開設されたのが昭和5年。太平洋戦争前にスタートして、現在に至るまで移転していない地方競馬専用の競馬場は、笠松（昭和10年開設）と園田の2つだけとなっている。

一方の姫路競馬場は昭和24年の開設。かつては姫路競馬場の周りにも園田競馬場と同じように厩舎があったが、競馬場周辺が市街地になったこともあり、昭和55年に30kmほど離れた西脇市に移転。それ以降の姫路競馬は、出走全馬が厩舎から輸送される形で開催されている。

昭和以降の兵庫県には、それ以外にも競馬場があった。そのひとつは昭和13年まで実施されていた明石競馬場。近くを走る山陽電鉄には、競馬開催日だけ列車が停車する臨時駅があった（のちに通常の駅に昇格）。

もうひとつは、淡路島の南部で昭和24年まで開催されていた淡路競馬場。跡地の中央部分は市民グラウンドと体育館、それ以外はたまねぎ畑だが、走路跡が道路にな

姫路競馬場にある手書きの出馬表

っているからわかりやすい。その道をたどると、かなりの小回りコース。淡路競馬の廃止を受け、移転という形で開設された姫路競馬場を思い出させる急カーブだ。

淡路競馬を拠点にしていた馬は、本州と四国の間という位置環境をうまく利用していたらしい。淡路での開催が終わると海を渡って徳島に行き、さらに開催を追いかけ高松などに移動。それが終わるとまた淡路に戻っていた。また、淡路から兵庫や大阪などに向かう馬もいたそうだ。

それもそのはず、昭和20年代には沖縄を除くすべての都道府県で地方競馬が開催されていて、厩舎が競馬場に併設されていない競馬場も多かった。近畿2府4県では滋賀が草津、京都が長岡京、奈良が奈良市郊外、和歌山が紀三井寺、大阪が長居と春木で地方競馬が存在。しかしそれらは徐々に廃止され、昭和49年に春木、昭和63年に紀三井寺が廃止されたことで、近畿の地方競馬は兵庫県だけになってしまった。

廃止された競馬場で仕事をしていたホースマンは当然、次の仕事先を探す。そのなかで競馬を続けることを目指した人の何人かを兵庫県競馬が受け入れた。木村健調教師の父である木村隆騎手は紀三井寺から。春木からは寺嶋正勝騎手（その後調教師、故人）など、多くの人が移ってきた。

長らく兵庫の競馬を実況してきた吉田勝彦アナウンサーも、兵庫以外の競馬場から移ってきた人だ。吉田さんのデビューの地は春木競馬。同じ大阪府の長居でも実況をしていたが、吉田さんの住まいは兵庫県加古川市。加古川駅から春木競馬場がある久米田駅までの通勤には、片道3時間以上もかかったそうだ。

昭和30年、19歳のとき実況席に初めて座り、その翌年からは園田と姫路で行われ

たほとんどのレースを目にしてきた。吉田さんが競馬場で見聞きしたことはまさに、激動する昭和時代の社会の縮図。当時の競馬場は現在とはまったく違う、殺伐とした雰囲気があったことだろう。



64年間兵庫競馬で実況を務めた吉田勝彦アナウンサー

そういった時期を経て、園田競馬場も姫路競馬場もスタンドがリニューアル。場内がきれいになったことと引き換えに、昔を感じさせるものの多くが失われることになった。今とは比べものにならないほどの混雑ぶりを目にしてきた場立ち予想の田中義彦さんも、2019年にその活動に終止符を打った。

しかしながら、そうになっていくのは仕方がないこと。それでも両競馬場には歴史を感じさせるものがいくつか残っている。園田競馬場ではゴール近くにある食堂がそのひとつ。姫路競馬場はパドックにある手書きの出馬表が代表格だ。

ちなみに兵庫県では太平洋戦争後、もう一カ所競馬が開催されていた。それは淡路島の中央部にある洲本市にあったもの。ただし、こちらは競走馬の育成や調教などに利用されていた施設を利用した「草競馬」だった。それでも、その名称である「三熊山競馬場」は、園田競馬場の「三熊山特別」として残されている。明治時代には淡路島から北海道の日高地方に向かう開拓団が発していた。かつて、淡路島で馬の生産育成が盛んに行われていたのは、その繋がりもたらしたものかもしれない。そう考えると、近畿地方で兵庫県だけが地方競馬を続けられたのは、偶然ではなかったのだという気もする。

ダイナミックな騎乗で兵庫のトップジョッキーへ

木村健騎手といえば、兵庫を代表する騎手の一人。ただ、その実力が開花するまでは10年ほどかかった。

1993年のデビューから約3年で100勝を達成したが、その当時の兵庫には小牧太、岩田康誠の二枚看板が君臨していた。

その状況が一気に変わったのが、小牧騎手がJRAに移籍した2004年。前年の86勝から131勝に成績を伸ばし、岩田騎手がJRAに移った2006年には初の兵庫リーディングを獲得。それ以後はトップジョッキーとして地位を築き上げていった。

ただ、兵庫ダービーのタイトルはなかなか手に入らなかった。リーディングを争っていた田中学騎手は2010年に3勝目。木村騎手のダービー未勝利は、関係者から「不思議のひとつ」に挙げられていた。

その呪縛を解いたのが、オオエライジン

で臨んだ2011年。2番人気でも単勝1.9倍という戦いを制して検量室前に戻ってきたとき、木村騎手の目は充血していた。

ようやく獲れた“ダービージョッキー”の称号。しかしその後は今までが嘘だったように勝ちまくった。2012年にも勝利して、2013年の2着をはさんで2014年から3連覇。5勝目となった2016年は、6番人気のノブタイザンで豪快に差し切った。

その姿こそが、木村騎手の代名詞であるダイナミックなフォーム。しかしその乗り方は体に大きな負担がかかる。2014年頃から腰痛での戦線離脱がたびたび発生し、2017年の夏は長期休養。そのころ「僕らしい騎乗ができなくなったら僕じゃないですから」と話していた。その葛藤を経て、2018年に調教師に転身。今度は違う立場でのリーディングを狙っていく。

青春プレイバック

木村健 調教師



【騎手時代】1993～2018年、兵庫に所属して地方通算21,715戦3,560勝（中央242戦6勝）。重賞勝ち鞍はかきつばた記念JpnⅢ、兵庫ダービー5回など地方70勝。ほかチューリップ賞GⅢで中央1勝。写真はインディウムで制した15年兵庫ダービー。

4月→6月

注目レース

園田競馬

データ分析

園田競馬場では、1月中旬から路盤の改修、クッション砂の新調などを伴う大規模な馬場工事を実施。4月13日からリニュ

5/4 兵庫チャンピオンシップ

●JRAが毎年ほぼ上位独占

◇11年の2着、19年の3着を除き3着以内はすべてJRA勢となっている。1番人気【6-1-2-1】、2番人気【2-5-2-1】で馬券に絡めなかったのは各1頭だけ。ただ3番人気は【1-2-2-5】と半数が4着以下でやや信頼度を欠く。19年は7番人気バンローズキングス（兵庫）が3着だったが、これが3着以内に入った最低人気。極端な人気薄が上位にくることは

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	ダート成績
20.5.6 園田 1870m 曇・良 12頭	7	9	バーナードループ(JRA)	牡	3	56	ルメー	高木登	2.01.7	1	3-3-3-2	J中山・1勝クラス①	2-1-0-0
	7	10	ダノンファラオ(JRA)	牡	3	56	坂井瑠	矢作芳	クビ	2	2-2-1-1	J中山・伏電S(OP)⑥	2-1-0-2
	6	7	サンデーミラージュ(JRA)	牡	3	56	松若風	宮本博	9	3	8-8-4-4	J阪神・1勝クラス①	2-0-0-0
19.5.2 園田 1870m 晴・重 12頭	7	9	クリソベリル(JRA)	牡	3	56	ルメー	音無秀	1.57.3	1	3-3-3-1	J阪神・1勝クラス①	2-0-0-0
	8	12	ヴァイトブリック(JRA)	牡	3	56	戸崎圭	和田郎	5	2	4-5-4-3	J東京・ヒヤシンスS(OP)②	2-1-0-0
	5	5	バンローズキングス(兵庫)	牡	3	56	吉村智	松平幸	2 1/2	7	5-4-4-5	園田・菊花賞⑥	4-2-0-6(すべて地方)
18.5.3 園田 1870m 晴・稍重 11頭	3	3	テオーエナジー(JRA)	牡	3	56	岩田康	宮 徹	2.00.0	1	4-4-4-3	J阪神・1勝クラス①	2-1-1-0
	4	4	ビッグスモーク(JRA)	牡	3	56	濱中俊	清水久	5	2	1-1-1-1	J中山・スプリングS GII(芝)⑩	2-2-0-1(地方5着1回)
	5	5	キャベンディッシュ(JRA)	牡	3	56	Mデム	小櫓悟	1 1/2	3	2-2-2-2	J中山・伏電S(OP)⑦	2-1-0-5

5/5 兵庫大賞典

●昨年は白鷺賞組が好走

◇現在、兵庫では2～4月に4歳以上が出走可能な中長距離重賞は実施されていない。注目は他地区重賞を使われてきた馬。もっとも相性がいいのは、はがくれ大賞典（佐賀2000m）で、同レースが地方全国交流となった14年以降では、3勝、2着2回、3着3回で、馬券に絡めなかったのは14年に11着から臨んだラストキングのみ。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性別	年齢	重	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
20.5.5 園田 1870m 晴・良 10頭	2	2	タガノゴールド(兵庫)	牡	9	56	下原理	新子雅	2.02.6	1	4-4-3-3	船橋・ダイオライト記念JpnⅡ⑤	姫路・白鷺賞①
	3	3	ジンギ(兵庫)	牡	4	56	田中学	橋本明	3	3	5-5-4-4	園田・A1特別①	園田・A1特別②
	8	9	エイシンニシパ(兵庫)	牡	7	56	吉村智	橋本明	クビ	2	2-2-2-1	佐賀・はがくれ大賞典②	姫路・白鷺賞②
19.5.3 園田 1870m 晴・稍重 12頭	4	4	エイシンニシパ(兵庫)	牡	6	56	吉村智	橋本明	1.59.5	2	3-3-3-2	佐賀・はがくれ大賞典①	佐賀・佐賀記念JpnⅢ⑦
	6	7	マイタイザン(兵庫)	牡	6	56	杉浦健	新井隆	4	1	1-1-1-1	名古・名古屋大賞典JpnⅢ④	名古・梅見月杯①
	8	11	タガノゴールド(兵庫)	牡	8	56	下原理	新子雅	クビ	3	2-2-2-3	園田・六甲盃①	名古・梅見月杯⑥
18.5.4 園田 1870m 晴・良 12頭	6	8	マイタイザン(兵庫)	牡	5	56	杉浦健	新井隆	2.02.3	2	1-1-1-1	園田・A1特別①	園田・新春賞①
	5	6	キノソル(兵庫)	牡	8	56	田中学	田中範	2 1/2	1	7-7-2-2	園田・A1特別①	園田・六甲盃②
	6	7	エイシンニシパ(兵庫)	牡	5	56	吉原寛	橋本明	3	3	6-6-7-4	佐賀・はがくれ大賞典①	名古・梅見月杯②

ーアルされた馬場での競馬となる。また5月14日には“その金曜ナイター”もスタートする。春の園田競馬では、3歳は菊花賞、兵庫チャンピオンシップJpnⅡ、兵庫ダービーと続く三冠路線や、牝馬ののじぎく賞が行われる。また、古馬の中長距離路線では、

考えにくい。

◇馬券圏内に入ったJRA馬28頭中25頭は、JRAダートで2勝以上。JRAダート3勝馬は、11～16年では、3勝、2着2回、3着1回で複勝率100%の好成績。しかし17、18年は各1頭出走し4、5着、19、20年は出走がなかった。なお2歳時にダートグレードを2連勝した11年リアライズノユメ（JRAではダート1勝のみ）は6着に敗れている。JRAダート3勝馬が不在の近2年は、兵庫の馬が19年3、4着、20年4、5着とJRA5頭に割

1月の白鷺賞（姫路2000m）以来の重賞となる5月の兵庫大賞典と、6月の六甲盃が目標レースになる。ここでは、兵庫チャンピオンシップJpnⅡ、兵庫大賞典の2011年以降、過去10回の結果から、傾向を探っていく。

って入っている。JRA勢の陣容次第では、前走で菊花賞（園田1700m）を使われた地元勢の食い込みはありそうだ。

◇騎手では、戸崎圭太が3回騎乗し1～3着各1回の好成績。クリストフ・ルメールは2度騎乗し19、20年と連勝。川原正一はJRA馬とのコンビでは1、2着各1回、JRA美浦の馬に外国人騎手が乗ったときは1勝、3着2回とすべて馬券圏内を確保。兵庫デビューの岩田康誠は3勝、2着1回（着外3回）と好成績を残している。

ニシパが3着に入っている。

◇1人気【6-3-0-1】、2人気【3-4-2-1】、3人気【1-2-3-4】で連対馬20頭中19頭が3番人気以内。例外は6番人気で2着の17年エーシンクリアーだが、はがくれ大賞典に出走（6着）していた。なお同年は11番人気エイシンホクトセイが3着に入り3連単で15万円8260円の波乱となったが、その他、13年の7万7970円（2→3→6番人気）以外の8年は最高4030円と堅い決着が多い。

園田競馬場

サイヤーランキング

2019年2月1日～2021年1月31日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(3526レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
サウスヴィグラス	228,085	134	743	71	ディアタイザン
ロードカナロア	177,504	77	437	55	ジンギ
ゴールドアリュール	152,052	82	559	64	タガノゴールド
シニスターミニスター	113,430	76	398	52	ナリタミニスター
カネヒキリ	79,296	56	395	30	テンマダイウエーヴ
キンシャサノキセキ	77,943	56	551	57	サクセスエナジー
パイロ	77,521	69	654	59	タラニス
エスポワールシチー	76,625	40	179	22	ステラモナーク
エンパイアメーカー	73,892	49	554	41	ミカエルシチー
ハーツクライ	71,655	47	441	43	メイショウオオゼキ

■1230m(476レース)

サウスヴィグラス	57,195	33	200	43	エイシンエンジョイ
エンパイアメーカー	24,832	10	45	11	ミカエルシチー
パイロ	18,286	12	141	28	タラニス

■1400m(2634レース)

サウスヴィグラス	122,728	87	471	66	ティエムサウスダン
シニスターミニスター	69,680	59	274	45	ナリタミニスター
ロードカナロア	69,303	57	336	50	サロルン

■1700m(241レース)

ロードカナロア	26,421	5	19	6	ジンギ
ハーツクライ	24,068	12	74	21	ヤマミダンス
カネヒキリ	19,518	6	38	15	テンマダイウエーヴ

■1870m(104レース)

ロードカナロア	73,181	4	10	4	ジンギ
ゴールドアリュール	65,673	4	18	13	タガノゴールド
ワイルドラッシュ	48,160	3	10	3	エイシンニシパ

※820m、2400mはレース数が少ないため割愛した

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝利数	活躍馬(勝利数順)
サウスヴィグラス	134	79	743	71	48	セイブレジュール
ゴールドアリュール	82	77	559	64	32	ゴールドカムイ
ロードカナロア	77	74	437	55	33	ジンギ
シニスターミニスター	76	46	398	52	30	ナリタミニスター
パイロ	69	80	654	59	28	タラニス
ダイワメジャー	63	54	546	45	24	エイシンテースティ
アイルハヴアナザー	57	51	428	36	24	コスモグレートナス
キンシャサノキセキ	56	54	551	56	28	ステップシュート
カネヒキリ	56	45	395	30	22	ヴィノシディマジス
オルフェーヴル	55	45	401	43	27	ナリタエストレジャ

サウスヴィグラス	33	15	200	43	16	アヴニールレーヴ
アイルハヴアナザー	16	3	59	14	8	メイショウタイシ
パイロ	12	18	141	28	8	デンコウブレイブ

サウスヴィグラス	87	57	471	66	34	セイブレジュール
ゴールドアリュール	65	59	409	56	27	ゴールドカムイ
シニスターミニスター	59	32	274	45	24	ナリタミニスター

ハーツクライ	12	6	74	21	11	スピリットソウル
リーチザクラウン	8	1	27	8	2	キノグロウ
ゼンノロブロイ	7	7	44	15	4	エルモース

シニスターミニスター	5	3	23	9	2	マコトタリスマン
ハーツクライ	5	3	35	11	3	バイキングクラブ
ロードカナロア	4	2	10	4	2	ジンギ

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

園田金盃&白鷺賞

ジンギ

2016年2月16日生まれ 牡 鹿毛 兵庫・橋本忠明厩舎
生産・松浦牧場(新冠郡新冠町)

ロードカナロア 鹿毛2008	キングカメハメハ 鹿毛2001	Kingmambo マンファス(IRE)
	レディブラッサム 鹿毛1996	Storm Cat サラトガデビュー(USA)
ロイヤルインパクト 黒鹿毛2008	ディーブインパクト 鹿毛2002	サンデーサイレンス(USA) ウインドインハーヘア(IRE)
	シーキングロイヤル(USA) 栗毛1993	Seeking the Gold Canoodling

昨年、摂津盃と園田金盃を勝利し、兵庫競馬の年度代表馬に選ばれたジンギ。年明け初戦の白鷺賞も7馬身差で圧勝し、2021年も幸先のいいスタートを切った。これまで重賞5勝を含む21戦13勝という素晴らしい成績を残しているこの馬の血統を詳しく見てみよう。

父ロードカナロアは現役時代に香港スプリント連覇など芝1200～1600mのGIを6勝したJRA年度代表馬であり顕彰馬。種牡馬としてもアーモンドアイ(牝馬三冠を含むGI・9勝)、サートゥルナーリア(皐月賞)、ステルヴィオ(マイルCS)、ダノンスマッシュ(GI香港スプリント)、タガロア

(豪GI・MRCブルーダイヤモンドS)と、国内外で順調にGIホースを送っている。ディーブインパクト亡き現在、日本で最高額の種付料(受胎確認後1500万円)を誇り、次代のリーディングサイアーに最も近いと目されている存在だ。

産駒はJRAの芝の活躍馬が多いが、昨年の地方競馬のサイヤーランキングは15位と、前年の37位から大きくランクアップしている。地方での重賞勝ち馬はジンギの他、ダートグレード競走の兵庫チャンピオンシップを勝ったバーナードループ、昨年の楠賞を勝ち、兵庫ゴールドトロフィーでも0秒6差の5着に入ったサロルンと、7勝全てが兵庫でのレース。当地では抜群の相性を示している。

ジンギのロードカナロア×ディーブインパクトの配合は昨年のJRAサイヤーランキング2位と1位の組み合わせで、生え抜きの地方所属馬では珍しいパターン。JRAでは小倉2歳S、京王杯2歳Sを勝ったファンタジスト、ポートアイランドSのドナウデルタなどの活躍馬が出ており、1400～1600mに強いのが特徴だ。母の父ディーブインパクトの父馬別JRA勝利数を算出してみると、今やルーラーシップを抑



写真●兵庫県競馬組合

園田金盃を制し、兵庫の年度代表馬となったジンギ

え、ロードカナロアが41勝(2月21日現在)とトップに立っている。この配合からは今後さらなる活躍馬が出てくるだろう。

ジンギは牝系も一流だ。母ロイヤルインパクトはJRAのダート1700～1800mで4勝。3代母カヌードリングの産駒にはNHKマイルC2着のトーヨーデヘアがいて、4代母インスタントシンの子孫にはGI英1000ギニーのウィンズ、米GIパシフィッククラシックのスキミングなど欧米のGI馬の他、日本でも彩の国浦和記念など重賞3勝を挙げたレイズズランなどが出ている。さらに5代母エンチャンテッドイヴの子孫には、地方リーディングサイアーのサウスヴィグラスやアドマイヤムーンなどの父として日本でも父系を伸ばすエンドスウィープがおり、ジンギが地方のダートで活躍しているのも頷ける。

5歳を迎え、充実期に入った感のあるジンギには、今後もさらなる飛躍が期待できそう。

DIRT GRADE DATA 作戦

データ分析●小田原智大

第25回 マリーンカップ JpnⅢ 4月7日(水) 3歳以上牝馬 船橋1600m 1着賞金 2500万円 フルゲート14頭

20.4.2 船橋 1600m 晴・重	7⑫ サルサディオオーネ(大井) 牝6 55 矢野貴之 1.40.1 5人 6⑨ メモリーコウ(JRA) 牝5 55 嶋場文男 2 2 3④ スマートフルーレ(JRA) 牝4 55 武 豊 1 1/2 3
19.4.17 船橋 1600m 曇・稍重	6⑥ ラーゴブルー(川崎) 牝5 55 御神本訓史 1.40.6 3人 7⑦ アイアンテラー(JRA) 牝5 56 濱中 俊 1 1/2 1 8⑧ リエノテソーロ(JRA) 牝5 56 大野拓弥 2 1/2 2
18.4.11 船橋 1600m 曇・良	単勝⑫670円 牝連複(6-7)690円 馬連複(9-12)1,420円 牝連単(6-7)1,520円 馬連単(12-9)2,900円 3連複(4-9-12)2,690円 3連単(12-9-4)15,570円
	単勝⑥480円 馬連複(6-7)310円 馬連単(6-7)880円 3連複(6-7-8)220円 3連単(6-7-8)1,400円
	6⑦ アンジュデジュール(JRA) 牝4 57 横山典弘 1.41.2 2人 2② クイーンマンボ(JRA) 牝4 57 C.ルメール 3/4 1 8⑪ ヤマニンアンブリメ(JRA) 牝4 55 鮫島良太 クビ 4
	単勝⑦370円 牝連複(2-6)130円 馬連複(2-7)210円 牝連単(6-2)400円 馬連単(7-2)600円 3連複(2-7-11)470円 3連単(7-2-11)2,330円

●近2年は地方勢が勝利
2012年から16年にかけてはミラクルレジェンドやサンビスタら1番人気で5連勝をマーク。その後、17年ホワイトフーガと18年アンジュデジュールは2番人気で勝利。JRA勢でJpnI級の実力馬がいる場合は平穏な決着になりやすい。近2年の1番人気は19年アイアンテラーが2着、20年パッシングスルーは9着と敗れた。両年に勝利を収めたのは19年が3番人気ラーゴブルー(川崎)で、20年は5番人気サルサディオオーネ(大井)だった。JRA勢のメンバーが手薄になると、地方勢にも勝つチャンスが出てくる。前走レースはJRA勢・地方勢ともにさまざま。重賞だけでなく条件クラスから参戦する馬も軽視できない。

第32回 東京スプリント JpnⅢ 4月14日(水) 4歳以上 大井1200m 1着賞金 2700万円 フルゲート16頭

20.4.8 大井 1200m 晴・良	1① ジャスティン(JRA) 牡4 56 坂井瑠星 1.10.9 3人 6⑧ サブノジュニア(大井) 牡6 56 矢野貴之 1 1/4 5 3③ キャンドルグラス(船橋) 牡6 56 笹川 翼 2 7
19.4.10 大井 1200m 雨・不良	4⑧ キタサンミカヅキ(船橋) 牡9 57 森 泰斗 1.11.6 4人 3⑥ コパノキッキング(JRA) 牡4 56 藤田菜七子 1 2 4⑦ ヒロシゲゴールド(JRA) 牡4 56 武 豊 クビ 1
18.4.18 大井 1200m 晴・不良	単勝⑧780円 牝連複(3-4)300円 馬連複(6-8)950円 牝連単(4-3)580円 馬連単(8-6)2,890円 3連複(6-7-8)870円 3連単(8-6-7)8,020円
	2③ グレイスフルリブ(JRA) 牡8 57 武 豊 1.11.8 6人 4⑦ キタサンミカヅキ(船橋) 牡8 57 繁田健一 1 1/2 4 7⑬ ネロ(JRA) 牡7 56 内田博幸 1/2 3
	単勝③1,170円 牝連複(2-4)1,220円 馬連複(3-7)5,220円 牝連単(2-4)1,860円 馬連単(3-7)11,570円 3連複(3-7-13)12,480円 3連単(3-7-13)102,430円

●JBCスプリントにもつながる一戦
秋の東京盃やJBCスプリントにもつながる注目の一戦。2018年1着グレイスフルリブは同年のJBCスプリント(京都)を勝利。20年1着ジャスティンは同年の東京盃とカペラステークスを勝利し、2着サブノジュニアは同年のJBCスプリント(大井)を勝利した。レースのレベルが高く、シンプルに実力があるスプリンターが勝ちやすい。前走ではまずフェブラリーステークスや根岸ステークスが有力。地方のダートグレードでは黒船賞、南関東ではフジノウエブ記念組に注目だ。それぞれ5着以内に入っていた馬でもマークしたい。中央のリステッド競走では中山ダート1200mの千葉ステークスあたりとの相性が良い。

第23回 かきつばた記念 JpnⅢ 5月3日(祝・月) 4歳以上 名古屋1400m 1着賞金 未定 フルゲート12頭

20.5.4 名古屋 1400m 曇・良	6⑦ ラブタス(JRA) セン4 57 幸 英明 1.25.3 1人 8⑧ ノボバカラ(JRA) 牡8 56 岡部 誠 3 3 2② ドリームドルチェ(浦和) 牡8 55 大畑雅章 5 5
19.5.1 名古屋 1400m 雨・不良	単勝⑦160円 牝連複(6-6)530円 馬連複(7-8)560円 馬連単(7-8)700円 3連複(2-7-8)1,130円 3連単(7-8-2)3,010円
	7⑩ ゴールドクイーン(JRA) 牝4 54 古川吉洋 1.25.1 2人 2② ヤマニンアンブリメ(JRA) 牝5 54 鮫島良太 2 1/2 1 8⑫ テーオーヘリオス(JRA) 牡7 57 濱中 俊 3 5
	単勝⑩340円 牝連複(2-7)410円 馬連複(2-10)450円 馬連単(10-2)790円 3連複(2-10-12)1,640円 3連単(10-2-12)4,980円
18.4.30 名古屋 1400m 曇・良	6⑦ サクセスエナジー(JRA) 牡4 54 松山弘平 1.25.9 2人 3③ キングズガード(JRA) 牡7 58 藤岡佑介 3/4 1 8⑪ サンライズメジャー(JRA) 牡9 56 大野拓弥 クビ 9
	単勝⑦380円 牝連複(3-6)320円 馬連複(3-7)420円 馬連単(7-3)840円 3連複(3-7-11)5,080円 3連単(7-3-11)16,010円

●4コーナー先頭がVポジション
最後の直線距離がわずかに194mしかない名古屋競馬場らしい傾向が出ている。近年は2017年トウケイタイガー(兵庫)、18年サクセスエナジー、19年ゴールドクイーン、20年ラブタスと4コーナーで先頭だった馬がそのまま押し切って勝利している。スピードと先行力に長けていて、実際に1400mの重賞やオープン特別などを逃げ切ったことがある馬が有力だ。差し馬が勝ち切るのは困難で、2、3着候補となる。前走東京スプリント組から巻き返せそうな馬を選ぶのも有力な手段。地方勢は前走東海桜花賞勝ち馬に注目。前述のトウケイタイガーだけでなく、13年サイモンロード(名古屋)、20年ドリームドルチェ(浦和)がそれぞれ3着と好走している。

第22回 兵庫 チャンピオンシップ JpnⅡ 5月4日(祝・火) 3歳 園田1870m 1着賞金 未定 フルゲート12頭



写真●兵庫県競馬組合

20.5.6 園田 1870m 曇・良	7⑨ バーナードループ(JRA) 牡3 56 C.ルメール 2.01.7 1人 7⑩ ダノンファラオ(JRA) 牡3 56 坂井瑠星 クビ 2 6⑦ サンデーミラージュ(JRA) 牡3 56 松若風馬 9 3
19.5.2 兵庫 1870m 晴・重	単勝⑨210円 牝連複(7-7)230円 馬連複(9-10)240円 馬連単(9-10)460円 3連複(7-9-10)330円 3連単(9-10-7)1,080円
	7⑨ クリソベリル(JRA) 牡3 56 C.ルメール 1.57.3 1人 8⑫ ヴァイトブリック(JRA) 牡3 56 戸崎圭太 5 2 5⑤ パンローズキングス(兵庫) 牡3 56 吉村智洋 2 1/2 7
	単勝⑨110円 牝連複(7-8)130円 馬連複(9-12)130円 馬連単(9-12)170円 3連複(5-9-12)10,370円 3連単(9-12-5)26,980円
18.5.3 園田 1870m 晴・稍重	3③ テーオーエナジー(JRA) 牡3 56 岩田康誠 2.00.0 1人 4④ ビッグスモーキー(JRA) 牡3 56 濱中 俊 5 2 5⑤ キャベンディッシュ(JRA) 牡3 56 M.デムーロ 1 1/2 3
	単勝③140円 牝連複(3-4)200円 馬連複(3-4)220円 馬連単(3-4)320円 3連複(3-4-5)340円 3連単(3-4-5)890円
17.5.4 園田 1870m 晴・良	6⑦ タガノディグ(JRA) 牡3 56 川島信二 2.00.6 3人 5⑥ ノーブルスターン(JRA) 牡3 56 鮫島良太 3/4 5 1① クイーンマンボ(JRA) 牝3 54 北村友一 3 2
	単勝⑦600円 牝連複(5-6)1,700円 馬連複(6-7)4,280円 馬連単(7-6)7,930円 3連複(1-6-7)3,110円 3連単(7-6-1)28,970円
16.5.4 園田 1870m 晴・良	6⑧ ケイティブレイブ(JRA) 牡3 56 川原正一 2.00.2 2人 5⑥ ゴールドドリーム(JRA) 牡3 56 川田将雅 7 1 4④ グランセブルス(JRA) 牡3 56 松若風馬 3 1/2 5
	単勝⑥460円 牝連複(5-6)180円 馬連複(6-8)200円 馬連単(8-6)780円 3連複(4-6-8)930円 3連単(8-6-4)4,100円

●JRA勢が19連勝中
記念すべき第1回が行われた2000年はミツアキサイレンス(笠松)が勝利し、翌年は地元兵庫のロードパフキンが勝利を飾った。その後は02年インタータイヨウから20年バーナードループまでJRA勢が19連勝中だ。それらの人気内訳は1番人気11勝、2番人気5勝、3番人気2勝、4番人気1勝と非常に堅い傾向となっている。これだけ1番人気が強いということは、ここまで好成績を挙げて評価された馬が力を発揮しやすいということが言える。例えば、近3年は前走1勝(500万)クラスの1800mで強い勝ち方を示してきた馬が勝利している。18年テーオーエナジーと19年クリソベリルは阪神で勝利し、20年バーナードループは中山で勝利していた。前走オープンクラス組は少し評価が難しい。まずは前走伏電ステークス組が有力だが、掲示板外に敗れていた馬の巻き返しがよくある。18年は3着にキャベンディッシュ(前走伏電ステークス7着)、20年には2着にダノンファラオ(同6着)が入った。15年1着クロスリガー(同1着)のように連勝するパターンもある。また、ヒヤシンスステークス出走馬も有力で、こちらは前走3着以内馬がここでも3着以内に入っている。

第33回 かしわ記念 JpnⅠ 5月5日(祝・水) 4歳以上 船橋1600m 1着賞金 7000万円 フルゲート14頭

20.5.5 船橋 1600m 曇・良	1① ワイドファラオ(JRA) 牡4 57 福永祐一 1.38.6 6人 4④ ケイティブレイブ(JRA) 牡7 57 長岡慎仁 2 5 6⑥ サンライズノヴァ(JRA) 牡6 57 武 豊 1 1/2 3
19.5.6 船橋 1600m 晴・稍重	単勝①2,690円 馬連複(1-4)6,290円 馬連単(1-4)15,250円 3連複(1-4-6)4,600円 3連単(1-4-6)49,320円
	8⑩ ゴールドドリーム(JRA) 牡6 57 C.ルメール 1.40.2 2人 6⑥ インティ(JRA) 牡5 57 武 豊 1 1/2 1 6⑦ アポロケンタッキー(JRA) 牡7 57 戸崎圭太 2 7
	単勝⑩190円 牝連複(6-8)120円 馬連複(6-10)120円 牝連単(8-6)270円 馬連単(10-6)300円 3連複(6-7-10)560円 3連単(10-6-7)1,630円
18.5.2 船橋 1600m 雨・良	6⑦ ゴールドドリーム(JRA) 牡5 57 C.ルメール 1.39.2 2人 3③ オールブラッシュ(JRA) 牡6 57 田邊裕信 1 6 8⑪ インカンテーション(JRA) 牡8 57 三浦皇成 アタマ 1
	単勝⑦320円 牝連複(3-6)5,100円 馬連複(3-7)5,830円 牝連単(6-3)9,420円 馬連単(7-3)9,520円 3連複(3-7-11)3,930円 3連単(7-3-11)32,670円

●フェブラリーステークス組が圧倒
シンプルにマイルの実績・適性を競うレースであり、同じ馬が複数回好走しやすい傾向だ。2009年と10年、12年はエスポワールシチーが勝利。コパノリッキーも14年と16年、17年と3勝している。また、18年と19年はゴールドドリームが連覇を果たした。JRA勢・地方勢問わず前走フェブラリーステークス組が圧倒的に強い。ただし、同レースの着順通りに決まるわけではない。20年はフェブラリーステークス勝ち馬のモズアスコットが1番人気で6着と敗れ、12着から参戦したワイドファラオが逃げ切り勝ちを収めた。コース替わりの影響は強く受ける一戦とみていい。小回りや時計がかかる馬場で恩恵がありそうな馬は要警戒だ。

第25回 北海道スプリント カップ JpnⅢ 5月27日(木) 3歳以上 門別1200m 1着賞金 未定 フルゲート16頭	20.6.4 門別 1200m 曇・良	7 ⑬ メイショウアイアン(北海道) 牡10 56 落合玄太 1.12.8 6人気 5 ⑨ マテラスカイ(JRA) 牡6 57 武 豊 ハナ 1 7 ⑫ スズカコーズライン(JRA) 牡6 56 酒井 学 2着同着 2 単勝⑩2,000円 枠連複(5-7)240円(7-7)1,620円 馬連複(9-13)1,780円(12-13)2,700円 馬連単(13-9)5,890円(13-12)9,900円 3連複(9-12-13)3,460円 3連単(13-9-12)31,190円(13-12-9)36,050円	●素直に強いスプリンターを評価 過去5年の1番人気の成績は4勝、2着1回で非常に優秀だ。2016年はダノンレジェンド、17年はニシケンモノノフ、19年はヤマニンアンプリメが勝利しており、これらの馬は同年秋のJBC競走でも勝利を挙げた。出走メンバーのスプリント実績・能力を見比べて、強い馬を素直に狙いたいレースだ。一方で、ベテランの伏兵勢の頑張りも目立つ。18年は10歳のスノードラゴンが5番人気で3着、19年は9歳のメイショウアイアンが8番人気で2着、そして20年は10歳になったメイショウアイアンが6番人気で勝利した。メイショウアイアンは中央から北海道に移籍した馬。地方勢の食い込みはその他にもあるので注意したい。
	19.6.6 門別 1200m 曇・稍重	6 ⑫ ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝5 54 岩田康誠 1.11.5 1人気 8 ⑬ メイショウアイアン(北海道) 牡9 56 落合玄太 3 8 2 ③ ノボバカラ(JRA) 牡7 57 阿部 龍 クビ 4 単勝⑩220円 枠連複(6-8)7,300円 馬連複(12-16)16,110円 馬連単(12-16)19,460円 3連複(3-12-16)15,820円 3連単(12-16-3)120,730円	
	18.6.7 門別 1200m 晴・良	2 ③ テーオーヘリオス(JRA) 牡6 56 濱中 俊 1.12.9 1人気 3 ⑤ ラブバレット(岩手) 牡7 56 山本聡哉 クビ 3 5 ⑩ スノードラゴン(JRA) 牡10 59 五十嵐冬樹 アタマ 5 単勝③260円 枠連複(2-3)520円 馬連複(3-5)660円 馬連単(3-5)990円 3連複(3-5-10)1,780円 3連単(3-5-10)5,210円	
第25回 さきたま杯 JpnⅡ 6月3日(木) 4歳以上 浦和1400m 1着賞金 3100万円 フルゲート12頭	20.5.27 浦和 1400m 晴・良	5 ⑤ ノボバカラ(JRA) 牡8 56 森 泰斗 1.25.8 7人気 7 ⑨ ブルドッグボス(浦和) 牡8 58 御神本訓史 1 2 4 ④ ノブワイルド(浦和) 牡8 56 左海誠二 1 6 単勝⑤1,730円 枠連複(5-7)1,110円 馬連複(5-9)1,830円 枠連単(5-7)4,210円 馬連単(5-9)6,370円 3連複(4-5-9)5,010円 3連単(5-9-4)54,360円	●浦和1400mにマッチした馬を探せ 前走1600m以下のダートグレードで善戦していた馬たちの争いとなる。具体的には東京スプリント、かきつばた記念、かしわ記念のいずれかで5着以内の馬が有力だ。その中から浦和1400mにマッチした馬を選びたい。2020年は前走東京スプリントを勝利していたジャスティンが1番人気で5着に敗れた。その後の本馬の成績からは実力負けではなかったのは明らかだが1200mがベストのうえ、差す競馬を強いられることも響いたはず。前めの位置でレースができないと苦しい。16年1着ソルテ、19年1着ウインムート、20年3着のノブワイルドは逃げて好走。17年1着ホワイトフーガも4コーナーは先頭で通過していた。
	19.5.29 浦和 1400m 曇・良	7 ⑨ ウインムート(JRA) 牡6 56 和田竜二 1.25.3 4人気 3 ③ サクセスエナジー(JRA) 牡5 57 池添謙一 2 1/2 1 1 ① キタサンミカヅキ(船橋) 牡9 57 森 泰斗 2 2 単勝⑨690円 枠連複(3-7)650円 馬連複(3-9)710円 枠連単(7-3)2,040円 馬連単(9-3)1,950円 3連複(1-3-9)650円 3連単(9-3-1)5,390円	
	18.5.30 浦和 1400m 雨・良	2 ② サクセスエナジー(JRA) 牡4 56 松山弘平 1.26.2 1人気 1 ① キタサンミカヅキ(船橋) 牡8 57 繁田健一 ハナ 5 3 ③ アンサンブルライフ(浦和) 牡5 56 的場文男 4 9 単勝②280円 枠連複(1-2)880円 馬連複(1-2)1,010円 枠連単(2-1)1,390円 馬連単(2-1)1,540円 3連複(1-2-3)21,550円 3連単(2-1-3)73,850円	
第57回 関東オークス JpnⅡ 6月16日(水) 3歳牝馬 川崎2100m 1着賞金 3200万円 フルゲート14頭	20.6.10 川崎 2100m 晴・良	5 ⑦ レースプランジュ(JRA) 牝3 54 松山弘平 2.16.3 2人気 7 ⑪ アクアリーブル(船橋) 牝3 54 矢野貴之 1 1/2 4 7 ⑫ クリスティ(JRA) 牝3 54 M.デムーロ 4 3 単勝⑦390円 枠連複(5-7)460円 馬連複(7-11)740円 枠連単(5-7)910円 馬連単(7-11)1,350円 3連複(7-11-12)1,570円 3連単(7-11-2)7,690円	●強い牡馬との善戦経験が生きる 2013年勝ち馬のアメリカンボエジー以降はJRA勢が8連勝となっており、ひとまず中心はここから選びたい。基本的には現状の力関係を見極めることが大事で、これまでのダート実績が重要だ。19年ラインカーナ、20年レースプランジュと近2年は伏電ステークス組が勝利している。強い牡馬を相手にオープンクラスで揉まれてきた経験は強みとなる。他には鳳雛ステークスや兵庫チャンピオンシップで善戦していた馬が有力。1800m以上の距離実績も重要だ。地方勢もJRA勢にヒケを取らない。勝つのは大変だが、7年連続で3着以内に1頭は入っている。南関東勢は前走東京プリンセス賞好走馬が有望。地元で圧倒的に強ければ他地区の馬でも楽しみだ。
	19.6.12 川崎 2100m 曇・重	14 ⑬ ラインカーナ(JRA) 牝3 54 武藤 雅 2.17.7 4人気 13 ⑬ マドラステック(JRA) 牝3 54 大野拓弥 2 1 4 ⑥ トーセンガーネット(浦和) 牝3 54 左海誠二 大差 2 単勝⑬630円 枠連複(8-8)650円 馬連複(13-14)630円 枠連単(8-8)520円 馬連単(14-13)2,050円 3連複(6-13-14)690円 3連単(14-13-6)5,810円	
	18.6.13 川崎 2100m 晴・稍重	4 ⑤ ハービンマオ(JRA) 牝3 54 松岡正海 2.17.6 6人気 5 ⑥ ゴールドパテック(川崎) 牝3 54 山崎誠士 3/4 5 3 ③ クレイジーアクセル(大井) 牝3 54 御神本訓史 4 3 単勝⑤2,110円 枠連複(4-5)3,240円 馬連複(5-6)8,120円 枠連単(4-5)6,420円 馬連単(5-6)19,780円 3連複(3-5-6)9,050円 3連単(5-6-3)104,200円	
第44回 帝王賞 JpnⅠ 6月30日(水) 4歳以上 大井2000m 1着賞金 7000万円 フルゲート16頭	20.6.24 大井 2000m 曇・重	5 ⑧ クリンベリル(JRA) 牡4 57 川田将雅 2.05.3 2人気 7 ⑪ オメガパフューム(JRA) 牡5 57 M.デムーロ 2 1 4 ⑥ チュウワウイザード(JRA) 牡5 57 C.ルメール 1 1/4 3 単勝⑥310円 枠連複(5-7)310円 馬連複(8-11)320円 枠連単(5-7)670円 馬連単(8-11)660円 3連複(6-8-11)400円 3連単(8-11-6)1,870円	●1番人気で5連敗中 2015年は1番人気ホッコータルマエが海外(ドバイ)遠征明けながら勝利を飾ったが、その後は1番人気で連敗中だ。春シーズンを順調に使われて前走で重賞を勝っている馬が勝てなかったり、実力ナンバーワンの馬がローテーションで嫌われて人気を落としたりするあたりはその要因がありそうだ。20年は前走サウジカップで7着と負けでいたクリンベリルが2番人気、前走平安ステークス1着のオメガパフュームが1番人気となったが、勝利したのは前者だった。19年はフェブラリーステークス1着→かしわ記念2着と連対していたインティが1番人気で6着と敗れた。馬場・距離実績も重要で、大井2000mの適性が勝敗に直結する。
	19.6.26 大井 2000m 晴・重	4 ⑤ オメガパフューム(JRA) 牡4 57 D.レーン 2.04.4 3人気 1 ① チュウワウイザード(JRA) 牡4 57 川田将雅 1 1/4 2 8 ⑬ ノンコノユメ(大井) セ7 57 真島大輔 アタマ 8 単勝⑤340円 枠連複(1-4)410円 馬連複(1-5)410円 枠連単(4-1)790円 馬連単(5-1)730円 3連複(1-5-14)5,800円 3連単(5-1-14)16,650円	
	18.6.27 大井 2000m 晴・良	3 ④ ゴールドドリーム(JRA) 牡5 57 C.ルメール 2.04.2 2人気 2 ② ケイティブレイブ(JRA) 牡5 57 福永祐一 クビ 1 6 ⑩ サウンドトゥルー(JRA) セ8 57 大野拓弥 1 1/2 4 単勝④340円 枠連複(2-3)320円 馬連複(2-4)510円 枠連単(3-2)650円 馬連単(4-2)920円 3連複(2-4-10)1,080円 3連単(4-2-10)4,310円	

LOTO 高額配当ランキング Odds Park 2020年12月1日～2021年2月28日

【五重勝単勝式】

第1位	3,447,570円(1口)	12/23 園田
第2位	3,062,990円(1口)	1/27 姫路
第3位	2,773,540円(1口)	2/23 姫路
第4位	2,687,650円(1口)	12/8 園田
第5位	2,475,550円(1口)	12/24 園田
第6位	2,076,410円(1口)	2/9 姫路
第7位	1,846,740円(1口)	12/4 佐賀

【七重勝単勝式】

第1位	808,380円(5口)	2/8 帯広
第2位	784,940円(20口)	1/10 帯広

読者プレゼント

① 鮫島克也騎手

地方競馬通算5000勝記念Tシャツ…3名様
提供：佐賀県競馬組合 ※サイズは選べません

② オッズパーク特製ボールペン…10名様

提供：オッズ・パーク株式会社



ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkをご利用のご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望を明記の上、下記まで。締切は4月20日(火)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。
〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 兵庫(園田)、高知 …………… ナイター開催当日10:00 ~
 ばんえい帯広、ホッカイドウ、佐賀、南関東 …… ナイター開催当日12:00 ~

DG ダートグレード開催日 重賞 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
ばんえい 帯 広																															ばんえい
ホッカイドウ 門 別																															ホッカイドウ
岩 手 盛岡／水沢				水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	水沢						水沢	水沢	水沢				岩 手
				重賞							重賞						重賞														金 沢
金 沢											重賞						重賞								重賞						金 沢
笠 松																															笠 松
名 古 屋																															名古屋
兵 庫 園田／姫路	姫路					姫路	姫路	姫路					園田	園田	園田	園田				園田	園田	園田					園田	園田	園田		兵 庫
																															高 知
高 知																															高 知
佐 賀																															佐 賀
南関DG																															南関東

5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
ばんえい 帯 広	●	重賞	●					●	重賞	●					●	●	●					●	●	●					●	●	●	ばんえい
ホッカイドウ 門 別				重賞	●							●	重賞							●	●				●	●	DG					ホッカ イドウ
岩 手 盛岡/水沢	水沢	水沢			水沢				水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	岩手
金 沢		重賞	●	重賞	●					●	●					重賞		●						●	●	重賞					●	金沢
笠 松												●	●	●													●	重賞	●			笠松
名 古 屋			DG	重賞	●		●											●	●	●	●											名古屋
兵 庫 園田/姫路			園田	園田	園田	園田						園田	園田	園田						園田	園田	園田				園田	園田	園田				兵庫
高 知		重賞	重賞					●	●						●	●							●	●					●	●		高知
佐 賀			●	●				●	重賞					●	●							●	重賞						●	重賞	●	佐賀
南関DG					船橋																											南関東

6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
ばんえい 帯 広					●	●	●					●	●	●					●	重賞	●					●	●	●			ばんえい	
ホッカイドウ 門 別		●	重賞					●	●	●						重賞	重賞					●	●	重賞					重賞	●	ホッカイドウ	
岩 手 盛岡／水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					水沢	水沢	水沢					盛岡	盛岡	盛岡		岩 手	
	●				重賞	●	●						重賞	●	●					重賞	●	●					重賞	●	●			
金 沢	●					●		●					●		重賞						●		●				●		重賞		金 沢	
笠 松									●	重賞	●											●		●	重賞	●						笠 松
名 古 屋		●	●	●			●								重賞	●	●	●											●	●		名古屋
兵 庫 園田／姫路	園田	園田	園田							園田	園田	園田					園田	園田	園田					園田	園田	園田				園田		兵 庫
	●	重賞	●						●	重賞	●						●	●	●					●	重賞	●			●			
高 知												●	●							●	重賞						●	●				高 知
佐 賀					●	重賞						●	重賞	●						●	●						●	●				佐 賀
南関DG			浦和 DG													川崎 DG															大井 DG	南関東

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。

※南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみ投票できます。

※ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行(4月5日よりPayPay銀行に名称変更) 会員のみ投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2021年4月~6月)

4月	競馬場	実施日	競走名	重賞	競走条件	距離	備考
	水 沢	4(日)	第46回 スプリングカップ	重賞	3歳	1,600	
	佐 賀	4(日)	第20回 ル・プランタン賞	重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	船 橋	7(水)	第25回 マリーンカップJpnⅢ	DG	3歳以上牝馬	1,600	中央・地方全国交流
	名古屋	9(金)	第61回 東海桜花賞	重賞	4歳以上	1,400	地方全国交流
	水 沢	11(日)	第46回 赤松杯	重賞	4歳以上	1,600	
	金 沢	11(日)	JBCイヤー記念	重賞	4歳以上	1,400	
	大 井	14(水)	第32回 東京スプリントJpnⅢ	DG	4歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	笠 松	15(木)	第47回 新緑賞	重賞	3歳	1,600	
	園 田	15(木)	第53回 菊水賞	重賞	3歳	1,700	
	水 沢	18(日)	第46回 あやめ賞	重賞	3歳牝馬	1,400	
	金 沢	18(日)	第29回 北日本新聞杯	重賞	3歳	1,700	
	高 知	18(日)	第37回 二十四万石賞	重賞	4歳以上	1,900	
	名古屋	21(水)	第27回 東海クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,800	地方全国交流
	金 沢	25(日)	第31回 金沢スプリングカップ	重賞	4歳以上	1,900	
	佐 賀	25(日)	第9回 佐賀皐月賞	重賞	3歳	1,800	
	笠 松	29(祝・木)	第30回 オグリキャップ記念	重賞	4歳以上	2,500	地方全国交流
5月	帯 広	2(日)	第15回 ばんえい十勝オッズパーク杯	重賞	4歳以上選抜	200	
	水 沢	2(日)	第41回 ダイヤモンドカップ	重賞	3歳	1,600	
	金 沢	2(日)	第2回 ノトクリシマ賞	重賞	3歳牝馬	1,500	
	高 知	2(日)	第25回 黒潮皐月賞	重賞	3歳	1,400	
	名古屋	3(祝・月)	第23回 かきつばた記念JpnⅢ	DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	高 知	3(祝・月)	第12回 福永洋一記念	重賞	4歳以上	1,600	
	門 別	4(祝・火)	第11回 コスモバルク記念	重賞	3歳以上	1,800	地方全国交流
	金 沢	4(祝・火)	第3回 徹軒(ことじ)賞	重賞	4歳以上牝馬	1,500	
	名古屋	4(祝・火)	第60回 駿蹄賞	重賞	3歳	1,800	
	園 田	4(祝・火)	第22回 兵庫チャンピオンシップJpnⅡ	DG	3歳	1,870	中央・地方全国交流
	船 橋	5(祝・水)	第33回 かしわ記念JpnⅠ	DG	4歳以上	1,600	中央・地方全国交流
	園 田	5(祝・水)	第57回 兵庫大賞典	重賞	4歳以上	1,870	
	帯 広	9(日)	第14回 カーネーションカップ	重賞	3歳以上牝馬	200	
	水 沢	9(日)	第46回 シアンモア記念	重賞	4歳以上	1,600	
	佐 賀	9(日)	第4回 佐賀スプリングカップ	重賞	3歳以上	1,800	
	門 別	13(木)	第45回 北斗盃	重賞	3歳	1,600	地方全国交流
	園 田	13(木)	第59回 のじぎく賞	重賞	3歳牝馬	1,700	地方全国交流
	水 沢	16(日)	第21回 留守杯日高賞	重賞	3歳牝馬	1,600	地方全国交流
	金 沢	16(日)	第2回 利家盃	重賞	4歳以上	2,000	
	水 沢	23(日)	第22回 あすなろ賞	重賞	4歳以上	1,900	
	佐 賀	23(日)	第5回 佐賀ヴィーナスカップ	重賞	4歳以上牝馬	1,400	地方全国交流
	金 沢	25(火)	第5回 石川ダービー	重賞	3歳	2,000	
	門 別	27(木)	第25回 北海道スプリントカップJpnⅢ	DG	3歳以上	1,200	中央・地方全国交流
	笠 松	27(木)	第3回 飛山濃水杯	重賞	4歳以上	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	佐 賀	30(日)	第63回 九州ダービー栄城賞	重賞	3歳	2,000	
6月	門 別	3(木)	第58回 赤レンガ記念	重賞	3歳以上	2,000	地方全国交流
	浦 和	3(木)	第25回 さきたま杯JpnⅡ	DG	4歳以上	1,400	中央・地方全国交流
	園 田	3(木)	第59回 六甲盃	重賞	4歳以上	2,400	地方全国交流
	水 沢	6(日)	第6回 早池峰スーパースプリント	重賞	4歳以上	850	
	佐 賀	6(日)	第3回 佐賀がばいダッシュ	重賞	3歳以上	900	
	笠 松	10(木)	第4回 ぎふ清流カップ	重賞	3歳	1,400	北陸・東海・近畿地区交流
	園 田	10(木)	第22回 兵庫ダービー	重賞	3歳	1,870	
	水 沢	13(日)	第29回 東北優駿(岩手ダービー)	重賞	3歳	2,000	
	佐 賀	13(日)	第1回 佐賀ユースカップ	重賞	3歳	1,400	
	金 沢	15(火)	第64回 百万石賞	重賞	3歳以上	2,100	
	名古屋	15(火)	第51回 東海ダービー	重賞	3歳	1,900	
	門 別	16(水)	第7回 ヒダカソウカップ	重賞	3歳以上牝馬	1,600	地方全国交流
	川 崎	16(水)	第57回 関東オークスJpnⅡ	DG	3歳牝馬	2,100	中央・地方全国交流
	門 別	17(木)	第49回 北海優駿(ダービー)	重賞	3歳	2,000	地方全国交流
	帯 広	20(日)	第29回 北斗賞	重賞	3歳以上	200	
	水 沢	20(日)	第49回 一條記念みちのく大賞典	重賞	4歳以上	2,000	
	高 知	20(日)	第49回 高知優駿(黒潮ダービー)	重賞	3歳	1,900	地方全国交流
	門 別	24(木)	第46回 栄冠賞	重賞	2歳	1,200	地方全国交流
	笠 松	24(木)	第45回 クイーンカップ	重賞	3歳牝馬	1,600	北陸・東海・近畿地区交流
	園 田	24(木)	第11回 園田FCスプリント	重賞	3歳以上	820	近畿・四国地区交流
	盛 岡	27(日)	第45回 ウイナーカップ	重賞	3歳	1,400	
	門 別	29(火)	第7回 グランシャリオ門別スプリント	重賞	3歳以上	1,000	
	金 沢	29(火)	第40回 日本海スプリント	重賞	3歳以上	900	北陸・東海地区交流
	大 井	30(水)	第44回 帝王賞JpnⅠ	DG	4歳以上	2,000	中央・地方全国交流

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。



2021年GWのハイライト!

兵庫チャンピオンシップ(JpnII)

3歳 2021年5月4日(祝火) 園田競馬場

昨年度優勝馬 バーナードループ
騎手 C.ルメール

キャンペーン
開催!
詳細は後日
オッズパーク
サイト内で
告知します。



そのだけいば

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます(ホッカイドウ競馬については、市中銀行会員・ジャパンネット銀行(4月5日よりPayPay銀行に名称変更)のみ投票できます)

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式	三連勝	重勝式		投票方式				レース実況
					枠番	馬番			枠番	馬番	電話投票ARS	インターネット投票	クラシック投票	携帯投票	
	賭式番号		1	2	3	4	7	5	6	8	9	セレクト5	セレクト7	ランダム7	
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-073(帯広市)
ホッカイドウ門別	06	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-234(札幌市)
盛岡	11	15	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-335(盛岡開催)(盛岡市)
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-991-336(水沢開催)(奥州市)
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-553(金沢市) 076-257-7711
笠松	42	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-001(笠松町)
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-995-711(名古屋市)
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-996-200(園田開催)(尼崎市)
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-997-200(姫路開催)(姫路市)
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-998-991(高知市)
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-999-211(鳥栖市)

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0180-993-400 (東京03エリア)
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<http://www.oddsark.com/>

携帯
<http://m.oddsark.com/>

スマートフォン
<https://sp.oddsark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※「0180」「0570」で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからはご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけない場合がございます。

※「0180」で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル(「0570」で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。